

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	音楽B		
英文授業科目名	Music B		
開講年度	2009年度	開講年次	1(2)年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	長岡 英		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
jinbunyoumu@bunka.uec.ac.jp	なし

<p>【主題および達成目標】</p> <p>西洋音楽史--標題音楽の歴史--</p> <p>西洋音楽は私たち日本人の生活の中に溶け込んでいて、テレビ・コマーシャルなどにさまざまなクラシックが使われている。2009年度は「絶対音楽と標題音楽」という、対になる2つの側面から西洋音楽の歴史を概観する。</p> <p>音楽Bでは、標題音楽の基本レパートリーをたどる。標題音楽とは、文学や絵画、哲学的な思索など、音以外の手段と関連した器楽作品を指す。</p> <p>音楽の本来の姿は「鳴り響き」である。したがって試験では、授業で取り上げた曲のいくつかを聞いて、作曲家名、題名などを同定したうえでその曲に関して論述する、リスニング問題も出題する。西洋クラシック音楽に関する、大学生としての教養・常識を身につけることが目標である。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>原則として、音楽Aを履修した者が音楽Bを履修できる。</p> <p>これは、音楽Aと音楽Bは互いに補い合う内容であるが、音楽Bでは音楽Aの内容を繰り返さないためである。音楽Bのみの履修を希望する者は、音楽Bですでに扱った絶対音楽自体や、その歴史に関する知識を自分で補うこと。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>世界史と音楽の基礎知識があることが望まれる。</p>

【教科書等】

教科書：久保田 慶一、ほか「はじめての音楽史」音楽之友社

【授業内容とその進め方】

代表的な作品を時代順に聴き、分析することにより、標題音楽とは何かを理解し、その歴史的意義を考察する。

予定

- 第1回 標題音楽とは何か
- 第2回 標題音楽の先駆
- 第3回 標題音楽の成立
- 第4回 標題音楽 演奏会用序曲と交響詩
- 第5回 標題音楽 性格的小品
- 第6回 国民楽派の標題音楽1
- 第7回 国民楽派の標題音楽2
- 第8回 国民楽派の標題音楽3
- 第9回 国民楽派の標題音楽4
- 第10回 R.シュトラウスの交響詩
- 第11回 20世紀の標題音楽1
- 第12回 (予備日)
- 第13回 20世紀の標題音楽2
- 第14回 20世紀の標題音楽3
- 第15回 20世紀の標題音楽4、まとめ

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

時間が限られるため、曲全体を紹介することは不可能である。必要に応じて、図書館にあるCDを聴き、理解を深めること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2 / 3 以上出席して学期末試験を受けることが採点の対象となる条件。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないので、講義開始前・終了後に申し出てください。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】

この講義の目的は音楽を聴くことではなく、聴き方を学ぶことである。音楽的能力（楽譜を読む能力や楽典などの知識）は問わないが、毎時間、受け身で音楽を聞き流すのではなく、曲自体も覚えようとする積極的な態度が必要である。

最低限の板書しかしないので、必要に応じてメモをとること。

【その他】

特になし